

おわりのことば

平成 19 年 4 月から「特別支援教育」が学校教育法に位置づけられましたそれに伴い、「子ども一人一人のニーズに応じた教育的支援」という方向が明確になり、児童生徒の自己実現に向けて、より良い支援を行っていく流れが出来上がってきたように思われます。

このような情勢の中、本校が大切にしてきた、目の前の子どもから学ぶという教育を実践するために、平成 20 年度より 3 年間「一人一人のニーズを読み取り育てる取り組み」のテーマで、ICF の理念「障害からくる困難な点に注目するのではなく、子どもが持つプラス面から見るよう障害を捉え直し、子どもの主体的ニーズにより潜在的な能力が発揮できるようにする」を日々の実践に取り入れてきました。その中で目標設定の視点、子どもの見方、子どもを活かす授業の在り方、主体的な行動を増やす手立てなど、自己実現に向けた支援の在り方を、私たち教師が学び、私たちの教育観にも大きな影響を与えました。

そして平成 23 年度から 2 年間は「一人一人の自己実現につながる学校生活の再考」をテーマとし、過去 3 年間の成果と課題を踏まえて、私たちが得た新しい教育観のもと、全校の児童生徒に対して教育実践を行ってきました。その中で、一人一人の大目標にせまるための年間授業計画を立案すること、また一人一人の目標にせまるために、実際の授業での具体的な支援のあり方などを検討してきました。

本年度は、自己実現につながる授業づくりの在り方を、より確実なものにするために、授業の目標設定の在り方、授業内容の在り方、児童生徒による評価のあり方など具体的に検討を進めてきました。

今年度は研究最終年にあたり仕上げの段階ですが、まだ不十分な点があるかと思えます。今後の本校の発展のためにも皆様からの忌憚のないご指導ご鞭撻を頂ければ幸いに存じます。

最後になりましたが、金沢大学の先生方には、日頃より研究協力者としての確なご指導ご助言を頂いていることを心より感謝申し上げます。

副校長 今井 康弘

研究同人

研究協力者

小学部	金沢大学人間社会研究域	学校教育系	教授	吉川	一義	氏
中学部	金沢大学人間社会研究域	学校教育系	准教授	武居	渡	氏
高等部	金沢大学人間社会研究域	学校教育系	准教授	河合	隆平	氏

校長	酒	寄	淳	史
副校長	今	井	康	弘
主幹教諭	山	本		仁

小学部	新	保	利	久	中学部	神	谷	みつ	江
	木	下	由	起		戸	谷		茂
	竹	川	久	美子		不	嶋	美	穂
	柳	生	美	由季 (研究主任)		田	村	吉	治
	永	井	文	人		中	川	伸	明
	三	宅	和	憲		吉	田	華	恵美
	岡	部	亜	希子		北	潟	理	美
	竹	下	規	美代		中	村	由	美子
	土	田	行	美 (講)		尾	山	登	志子 (講)

高等部	下	野	令	子	全校級外	近	藤	明	子
	吉	藤	篤	史	養護教諭	藤	川	典	子
	竹	内	里	保香	栄養教諭	寺	口	真	弓
	村	瀬	真	理子					
	森	山	雄	生	旧同人	山	田	富	美
	伊	藤	久	美子		小	足	進	午
	村	野	智	康		福	田	貴	子
	鍛	治		誠		小	山	内	悦
	鶴	尾	千	亜紀 (講)					子 (講)
	中	谷	至	子 (講)					